

野ら猫

小林守城

おーい野らよ

こんな小春日和に

馬鹿に悠々と

暢気そうじゃないか

薄汚いけど随分

太っているんじゃないか

ずーと 野尻のほうまで

縄張りでも見に行くんか

野らとしてずっと生きている

飼い主はそこらの人ではない

人のいる里山だ

うとうとと生死の外や

日向ぼこ（村上鬼城）

生まれた子猫が可愛くて

人がその無垢な眼と仕種に

哀れを誘われたにしても

その野良性を

子にはしっかり伝えてよ

猫が猫であるために